

2011年8月4日(木)

## 成績が飛躍的に上がる「数学予習ノート」の作り方を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：今日は、昨日の英語に続いて数学の「予習ノート」の作り方を教えて下さい。

A：(林明夫：以下省略)はい、わかりました。

- (1)英語と同じように数学の予習をするときも、予習のはじめに必ず、教科書の1ページから今日予習をするところまでを、できればボソボソと声を出して「音読」することをお勧めします。

数学こそ、今日これから勉強する新しいことを100%完全に「理解」するには、それまでに勉強したことを確実に身につけておいたほうがよいからです。もし、どうしても声を出して読むのがいやでしたら、ゆっくり黙読<sup>もくどく</sup>をして下さいね。必ず大きな力になります。

- (2)数学も、ノートはたっぴりと書き込みができる「A版」を使うことをお勧めします。

- (3)「数学予習ノート」は、見開きの左ページのまん中に上から下に一本線を引き、線の左側には自分で解く「問題文」や「計算問題」を必ずすべて写す。その下に、自分の解答を書く。

- (4)左ページの右側にはとりあえず何も書かないで、授業のためにとっておくこと。授業中の先生の説明や板書事項を書くときよいでしょう。

- (5)左ページの下から1/3(三分の一)ぐらいは何も書かずに残しておいて、授業中に先生の説明や板書事項を書きましょうね。

- (6)右ページも同様に使います。

- (7)予習をしていて、どうしてもわからない計算や問題があったらどうするか。「学年別参考書」や「小学算数事典」、「中学数学事典」、「高校数学事典」などで「類題<sup>るいだい</sup>」、つまり似たような計算や問題を探して、調べてみるのが大事です。

- (8)それでもわからなかったら、自分なりの「よくわからないマーク」をつけておき、授業のときに先生のお話をよく聞くことです。

- (9)よく「理解」できた計算や問題は、予習の時間の最後に「計算」や「問題」を見た瞬間に条件反射でパッパッパッと正解が出るまで「計算・問題練習」を繰り返すことです。

- (10)これが、数学の「予習ノート」の作り方・使い方です。わかりましたか。

左ページ

右ページ

(1)問題文 答え	授業中の 先生の 解答	(4)	授業中の 先生の 解答
(2)問題文 答え		(5)	
(3)問題文 答え		(6)	
授業中の先生の説明 板書事項		授業中の先生の説明 板書事項	

Q：はい。何だか英語と似ていますね。最後に一言どうぞ。

A：(1)予習は何のためにするのか。「よくわからないところをはっきりさせてから授業に臨むために予習はする」ものです。

- (2)今日は、栃木県教育委員会の栃木県社会教育委員会議が栃木県公館であるため、これでおしまいです。

- (3)この原稿を書く前に執筆した2011年8月6日(土)発行の日本経済新聞土曜版日経プラス「ニュースにチャレンジ 教えて先生」の原稿を次のページに載せますので、御覧下さい。

日本も、世界も、今や大変な状況です。

では、今日はこの辺で。

## 国の債務、どうやって返す

開倫塾  
塾長 林明夫

1. 第二次世界大戦後の日本のように国が勢いを増している時に、返せる範囲で国が借金をして、国民の生活を便利にしたり、経済を活性化させるために社会基盤を整備したりすることは大切なことです。
2. 日本が勢いづいていた 1964 年の東京オリンピックの時に、日本が世界銀行からお金を借りて東海道新幹線や首都圏の高速道路を整備したのは、そのよい例です。
3. しかし、税金などからの収入が減りつつある時に、選挙で当選したいからと言って、国民がよるこびそうなことをするために国が債務危機に陥るほどの返せもしない大きな借金を重ねるのは大問題です。
4. あれもこれもやるのではなく、今やるべきことはこれだと一つ決め、国民の心を一つにして実行することが大事です。
5. 私は、外国との交流をもっと盛んにするために、学生だけでなく、すべての国民の英語によるコミュニケーション力を向上させ、英語を第二公用語にすることを提案したい。(1990 年代に経済危機に陥ったフィンランドが行ったのは、全国民への英語と IT 教育、それに特定地域の経済振興でした。)返し切れないほどの借金を抱える日本が、低迷する経済の中でこれから東日本復興を果たすには、製造業だけでなく農業もサービス業も含め全産業が外国に打って出る以外にない。外国の元気な方に日本で大活躍して頂く以外にない。そのためには、世界の共通語である英語を全国民が身につけるしかないと考えます。
6. 民間でやれる仕事は民間に任せたり、民間の資金を使って公共の仕事をするなどして、効率よく仕事をするしくみをつくり借金を減らすのも、一つの方法です。
7. 家庭にいる女性が働ける機会をもっともつとつくる。そのために女性が働ける環境を整備することも大事。また、いつまでも若々しく生きるために、60 歳すぎても生涯現役、85 歳すぎても働くことのできる社会をつくること。この二つが、人口減少で働く人が減る中で、返せないほどの大きな借金を抱えてしまった日本を国家破綻させないためには大事です。
8. あきらめたらおしまいです。皆で心を合わせてがんばるしかありません。

以上